

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時 令和5年6月30日(金) 10:35～12:05

場 所 大田市立静間小学校 6年教室

対象者 6年生 10名

指導者 教員1名

埋蔵文化財調査センター職員1名

1. 主題 古代人(縄文人)の生活を知ろう ～土器づくり体験～

2. ねらい

○静間小学校周辺の遺跡の様子を知ること、古代人の人々の生活の様子に興味・関心をもつ。

○土器づくりの体験を通して、古代人の生活の様子について知り、古代人の生活への理解を深める。

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項	分担
5分	今日の学習の流れを確認しよう。	・講師の紹介をする。 ・学習の内容やねらいを説明する。	担任
15分	身近にある遺跡について知る。 ・どこに遺跡があるか ・どのような遺跡か ・どのようなものが出土したか	・指導者がパワーポイントなどの視覚的教材を使って生徒の興味・関心を高めることができるようにする。	職員
60分	★土器づくりに挑戦しよう ①成型方法の説明を聞く ②施文方法の説明を聞く ③各自で土器の形を作り、縄文等の文様をつけていく *でき上ったら手を洗う *作品は、多目的室の窓際に並べる 感想を発表する。	各自机の上に粘土板を配置、粘土を配付 ・粘土、粘土板の準備 ・作っている様子を見て、困っている児童を支援する。	担任 職員
10分	片付けをする *アンケートに答える	《事後指導》 ・用紙を準備し、感想を書くようにする。 ・社会科：縄文時代のくらし	担任

4. 準備物

[学校・児童] パソコン、電子黒板、長机、粘土板、筆記用具

[埋文センター] 粘土、土器等の遺物、学習の資料、アンケート用紙等